

6.

**習志野市男女共同参画基本計画
D V 防止対策編
(平成24年度～平成25年度)
課別総括シート**

習志野市男女共同参画基本計画DV対策編(平成24年度～25年度)課別総括シート

事業NO.	20	担当課	商工振興課		
		内線	376		
		連携課名	男女共同参画センター		
担当課評価	1. 事業の企画や実施にあたり配慮した項目(複数回答可)				
	☐ 1) 企画・立案段階で、男女双方が参画するまたは意見を聞くことに努めたか。 ☐ 2) 男女双方に利用しやすい環境とする配慮に努めたか。 (情報の提供方法、日時、託児設備など) ☐ 3) 事業対象者または参加者の現状把握(男女別、年齢別など)に努めたか。 ☐ 4) 男女共同参画の推進のため、他の部署や国・県、他市との連携に努めたか。 ☒ 5) その他 (DV防止対策に関して、情報提供しました。)				
	2. 本計画における事業実施度				
	☐ A. 実施できた ☐ B. ある程度実施できた ☐ C. ほとんど実施できなかった ☒ D. 実施していない				
	◆指標 目標数値の達成度(100%とならなかった場合、理由を記載)				
	事業No	項目	目標数値	達成度	理由
	20	「アクティブならしの」による就業件数	1年30件	—	「アクティブならしの」から就業に結びついた状況把握が困難なため。
現計画においての課題や反省点	3. 施策の方向に掲げた事項の進捗度				
	☐ a. 進んだ ☒ b. やや進んだ ☐ c. 現状維持 ☐ d. 全く進んでいない(後退した)				
<進んだ・進んでいない等の理由> 求人情報サイト「アクティブならしの」を通し、DV防止対策に関して情報を提供しました。					
次期計画への改善点	(上記「担当課評価」に基づき、具体的な改善方法などを記入) DV防止対策に関して男女共同参画センターと連携し、「アクティブならしの」を通し、情報提供に努めます。また、「アクティブならしの」をリニューアルに際し、今まで搭載していなかった機能(メール送信機能)を利用し、本サイト閲覧者(DV被害者含む)が希望している職種で採用され、就労につながった状況について効果的に把握いたします。				
審議会意見	引き続き、DV担当部署である男女共同参画センターと連携して、DV防止対策に関する情報提供を継続願いたい。				
		数値目標追加シート	無		

習志野市男女共同参画基本計画DV対策編(平成24年度～25年度)課別総括シート									
事業NO.	1. 9. 10. 11. 14. 15. 17. 18. 19 22				担当課	男女共同参画センター			
					内線	238			
					連携課名	子育て支援課、高齢者支援課、障害福祉課、市民課、危機管理課、健康支援課、社会福祉課、保護課			
	1. 事業の企画や実施にあたり配慮した項目(複数回答可)								
担当課評価	☐ 1) 企画・立案段階で、男女双方が参画するまたは意見を聞くことに努めたか。 ☐ 2) 男女双方に利用しやすい環境とする配慮に努めたか。 (情報の提供方法、日時、託児設備など) ☒ 3) 事業対象者または参加者の現状把握(男女別、年齢別など)に努めたか。 ☒ 4) 男女共同参画の推進のため、他の部署や国・県、他市との連携に努めたか。 ☐ 5) その他 ()								
	2. 本計画における事業実施度								
	☐ A. 実施できた ☒ B. ある程度実施できた ☐ C. ほとんど実施できなかった ☐ D. 実施していない								
	◆指標 目標数値の達成度(100%とならなかった場合、理由を記載)								
	事業No	項目	目標数値	達成度	理由				
	1	DV防止に向けた啓発回数	1年3回	100%					
	14	女性の生き方相談事業についてのチラシ配布等、事業周知回数	年3回	100%					
	15	DV相談窓口の周知回数	年3回	100%					
	3. 施策の方向に掲げた事項の進捗度								
	☐ a. 進んだ ☒ b. やや進んだ ☐ c. 現状維持 ☐ d. 全く進んでいない(後退した)								
	<進んだ・進んでいない等の理由>								
	DV防止のための啓発、相談窓口の周知については、実施できた。特に25年度において商店街連合会を通じ、公共施設に配布・周知していたDV防止パンフレット・ステッカーなどを大型店舗(イトーヨーカドーなど)へも配布依頼し、市民への啓発に取り組んだ。しかしながら、男性相談の事業化の検討、および、配偶者暴力支援センターとしての機能充実については検討は行ったものの、具体的な結果を出せるまでにいたらなかったため。								
現計画においての課題や反省点	DV防止のための啓発、相談窓口の周知については実施してきたが、H24年度に実施した「男女共同参画に関する意識調査」の中で、DVについて相談をしたことがない人が73%もあったため、さらに周知に努めなければならない。「DVは人権侵害である、暴力は犯罪である」ことの周知が足りなかった。DV被害者も含め、女性の生き方相談体制の拡充が必要であった。								
次期計画への改善点	(上記「担当課評価」に基づき、具体的な改善方法などを記入)								
	第2次男女共同参画基本計画では、「DV被害者が安心して相談できる体制づくり」を重要施策と位置づけており、男女共同参画センターとしては、関係各課との連携を深めると共に、警察、配偶者暴力相談支援センターとも連携し、相談及び情報提供に努める。 DV防止対策…子育て支援課、高齢者支援課、市民課(被害者への支援等)								
審議会意見	DV相談に対してはよりきめ細やかな対応が必要である。DV防止に向けて、引き続き相談窓口の周知と安心して相談できる体制づくりに努めていただきたい。								
					数値目標追加シート 無				
55									

習志野市男女共同参画基本計画DV対策編(平成24年度～25年度)課別総括シート

事業NO.	4.12	担当課	健康支援課		
		内線	402 ・ 403		
		連携課名			
担当課評価	1. 事業の企画や実施にあたり配慮した項目(複数回答可)				
	☐ 1) 企画・立案段階で、男女双方が参画するまたは意見を聞くことに努めたか。 ☐ 2) 男女双方に利用しやすい環境とする配慮に努めたか。 (情報の提供方法、日時、託児設備など) ☒ 3) 事業対象者または参加者の現状把握(男女別、年齢別など)に努めたか。 ☒ 4) 男女共同参画の推進のため、他の部署や国・県、他市との連携に努めたか。 ☐ 5) その他 ()				
	2. 本計画における事業実施度				
	☒ A. 実施できた ☐ B. ある程度実施できた ☐ C. ほとんど実施できなかった ☐ D. 実施していない				
	◆指標 目標数値の達成度(100%とならなかった場合、理由を記載)				
	事業No	項目	目標数値	達成度	理由
		3. 施策の方向に掲げた事項の進捗度			
	☒ a. 進んだ ☐ b. やや進んだ ☐ c. 現状維持 ☐ d. 全く進んでいない(後退した)				
	<進んだ・進んでいない等の理由> 子どもから大人までのあらゆる健康に関する相談の中で、DVの相談にも対応し、必要時は関係機関と連携して支援した。また、乳幼児の相談票の中で父親の育児協力や母の精神的な支えになっているか等の項目を入れ、状況把握に努めた。 生と性の健康についての意識の啓発、健康に関する情報提供、健康教育を関係機関と連携し実施した。				
現計画における課題や反省点	・引き続き、各事業を実施し、相談体制の充実、生と性の健康についての意識の啓発を図る。 ・あらゆる健康に関する相談の中で、健康的な生活ができるよう、必要な情報提供を行うとともに、市民が安心して相談できるよう、必要に応じて、今後も庁内関係機関との連携に努める。				
次期計画への改善点	(上記「担当課評価」に基づき、具体的な改善方法などを記入) ママ・パパになるための学級、4か月児・10か月児健康相談、健診等で、プライバシーに配慮しながら安心して相談ができる環境づくりに努め、関係機関と連携していく。 ・あらゆる健康に関する相談の中で、市民が安心して相談できるよう、支援が必要な場合は、子育て支援課、高齢者支援課、男女共同参画センター等の庁内関係機関と情報を共有し、対応できるよう連携を深める。				
審議会意見	生と性の健康についての意識啓発において、関係機関と連携を取って施策展開された事は評価出来ますので、今後は更に数値目標を立てて推進していただきたい。また、DVに係わる健康相談事業の状況把握も取り組んでいただきたい。健康教育では命の大切さなど、幼稚園児からの教育も大切なので、今後取り組むことを望みたい。				
		数値目標追加シート	無		

習志野市男女共同参画基本計画DV対策編(平成24年度～25年度)課別総括シート									
事業No.	16				担当課	社会福祉課			
					内線	内線394			
					連携課名	子育て支援課			
担当課評価	1. 事業の企画や実施にあたり配慮した項目(複数回答可)								
	☐ 1) 企画・立案段階で、男女双方が参画するまたは意見を聞くことに努めたか。 ☐ 2) 男女双方に利用しやすい環境とする配慮に努めたか。 (情報の提供方法、日時、託児設備など) ☒ 3) 事業対象者または参加者の現状把握(男女別、年齢別など)に努めたか。 ☐ 4) 男女共同参画の推進のため、他の部署や国・県、他市との連携に努めたか。 ☐ 5) その他 ()								
	2. 本計画における事業実施度								
	☐ A. 実施できた ☒ B. ある程度実施できた ☐ C. ほとんど実施できなかった ☐ D. 実施していない								
	◆指標 目標数値の達成度(100%とならなかった場合、理由を記載)								
	事業No	項目	目標数値	達成度	理由				
	16	なし							
担当課評価	3. 施策の方向に掲げた事項の進捗度								
	☐ a. 進んだ ☒ b. やや進んだ ☐ c. 現状維持 ☐ d. 全く進んでいない(後退した)								
<進んだ・進んでいない等の理由> 県民児協等で開催された研修に参加するとともに、DVや人権擁護に関するリーフレット等の配布を行った。									
現計画においての課題や反省点	県民児協などで開催されている研修等の参加や周知を行うことができたが、独自にDVに関する研修を行うことができなかった。研修は民生委員児童委員を全体に対してを考えていたが役員会や地区民児協などに対しても周知していくなどが必要と感じた。								
次期計画への改善点	(上記「担当課評価」に基づき、具体的な改善方法などを記入) 全体での研修会や各地区の研修での実施に向けて、関係機関と連携し情報収集を行い民生委員児童委員全体だけではなく役員会や地区民児協などにも実施を働きかける。内容や講師の選定については男女共同参画センターと協議を行う。								
審議会意見	民生委員・警察等との連携、及び役所内関係部所と連携を図り、安心して相談出来る体制づくりを推進していただきたい。DVなどの発見にもつながることなので、地区民児協などで具体的に研究することを望みたい。								
					数値目標追加シート 無				

習志野市男女共同参画基本計画DV対策編(平成24年度～25年度)課別総括シート									
事業NO.	24				担当課	高齢者支援課			
					内線	236			
					連携課名				
担当課評価	1. 事業の企画や実施にあたり配慮した項目(複数回答可)								
	☐ 1) 企画・立案段階で、男女双方が参画するまたは意見を聞くことに努めたか。 ☐ 2) 男女双方に利用しやすい環境とする配慮に努めたか。 (情報の提供方法、日時、託児設備など) ☒ 3) 事業対象者または参加者の現状把握(男女別、年齢別など)に努めたか。 ☐ 4) 男女共同参画の推進のため、他の部署や国・県、他市との連携に努めたか。 ☐ 5) その他 ()								
	2. 本計画における事業実施度								
	☒ A. 実施できた ☐ B. ある程度実施できた ☐ C. ほとんど実施できなかった ☐ D. 実施していない								
	◆指標 目標数値の達成度(100%とならなかった場合、理由を記載)								
	事業No	項目	目標数値	達成度	理由				
現計画においての課題や反省点	3. 施策の方向に掲げた事項の進捗度								
	☐ a. 進んだ ☒ b. やや進んだ ☐ c. 現状維持 ☐ d. 全く進んでいない(後退した)								
	<進んだ・進んでいない等の理由> 高齢者の相談窓口として市内5ヶ所の地域包括支援センターを平成25年度よりすべて民間委託した。市と連携を取りながらセンター職員が積極的に地域に訪問、活動していることで地域に認知されるに伴い、介護や福祉、生活全般の相談や通報が増えており、必要な情報基盤として機能している。 課としては男女間(夫婦間)の暴力の相談については、男女共同参画センターと共に相談に対応し、支援した。親子間での虐待の事案について、必要に応じて介護保険制度のサービス利用等につなげるように働きかけをした。また、緊急保護として施設に一時的に保護するなど対応に努めた。 虐待の早期発見として、「高齢者見守りネットワーク」としてチラシ作成時に例題として挙げ、地域住民に働きかけを行った。								
次期計画への改善点	(上記「担当課評価」に基づき、具体的な改善方法などを記入) 引き続き次期計画についても相談場所の周知、介護保険や成年後見制度の利用案内、その他のサービスの案内、施設情報について情報提供に努めていく。 見守りネットワークを広く周知し、虐待防止に努めていく。								
審議会意見	障がい者や高齢者の自立に向けての施設の利用・相談窓口等を積極的にHP等で公開、PRを含め推進していただきたい。								
					数値目標追加シート 無				

習志野市男女共同参画基本計画DV対策編(平成24年度～25年度)課別総括シート

事業NO.	23	担当課	保護課		
		内線	217		
		連携課名	子育て支援課・男女共同参画センター		
担当課評価	1. 事業の企画や実施にあたり配慮した項目(複数回答可)				
	☐ 1) 企画・立案段階で、男女双方が参画するまたは意見を聞くことに努めたか。 ☐ 2) 男女双方に利用しやすい環境とする配慮に努めたか。 (情報の提供方法、日時、託児設備など) ☒ 3) 事業対象者または参加者の現状把握(男女別、年齢別など)に努めたか。 ☒ 4) 男女共同参画の推進のため、他の部署や国・県、他市との連携に努めたか。 ☐ 5) その他 ()				
	2. 本計画における事業実施度				
	☐ A. 実施できた ☒ B. ある程度実施できた ☐ C. ほとんど実施できなかった ☐ D. 実施していない				
	◆指標 目標数値の達成度(100%とならなかった場合、理由を記載)				
	事業No	項目	目標数値	達成度	理由
		3. 施策の方向に掲げた事項の進捗度			
	☐ a. 進んだ ☒ b. やや進んだ ☐ c. 現状維持 ☐ d. 全く進んでいない(後退した)				
	<進んだ・進んでいない等の理由> ・保護課におけるDV被害者対応で大事なことは、被害者への安全の確保と心のケアに配慮することを基本とし、その後の新たな生活に向けた支援を行うことにあります。関係各課と連携することはもちろんのこと、被害者の状況にあった適切な情報提供・役割を果たすことに努め、対応を行いました。 ・関係各課において、パンフレットの共有をしました。				
現計画における課題や反省点	・保護課の職員が保護制度について熟知していることは、もちろんです。しかしながら、関係各課が持つDV被害者への対応方法、制度理解や相互的役割を機能的有機的に行うための分担、いわゆる関係領域についての理解に更なる研鑽が必要になります。職員への啓発・制度周知に努めます。				
次期計画への改善点	(上記「担当課評価」に基づき、具体的な改善方法などを記入) ・DV被害者が置かれているさまざまな異なる状況を的確に把握、きめ細やかな対応を行うため、連携各課が持つ制度の理解や相互的役割分担を機能的有機的に行うための方策についての職員啓発を連携各課と行っています。				
審議会意見	DV被害者に対する的確な支援・情報提供を図るため、継続して市役所内関係部所の中心的な立場と成って、生活保護法の研修を推進していただきたい。縦割りではなく、横の連携をよくして、スピーディーに対応できるような取り組みを望みたい。				
		数値目標追加シート	無		

習志野市男女共同参画基本計画DV対策編(平成24年度～25年度)課別総括シート									
事業NO.	13.24				担当課	障がい福祉課			
					内線	215			
					連携課名	男女共同参画センター			
担当課評価	1. 事業の企画や実施にあたり配慮した項目(複数回答可) ☐ 1) 企画・立案段階で、男女双方が参画するまたは意見を聞くことに努めたか。 ☒ 2) 男女双方に利用しやすい環境とする配慮に努めたか。 (情報の提供方法、日時、託児設備など) ☒ 3) 事業対象者または参加者の現状把握(男女別、年齢別など)に努めたか。 ☒ 4) 男女共同参画の推進のため、他の部署や国・県、他市との連携に努めたか。 ☐ 5) その他 ()								
	2. 本計画における事業実施度								
	☒ A. 実施できた ☐ B. ある程度実施できた ☐ C. ほとんど実施できなかった ☐ D. 実施していない								
	◆指標 目標数値の達成度(100%とならなかった場合、理由を記載)								
	事業No	項目	目標数値	達成度	理由				
	3. 施策の方向に掲げた事項の進捗度								
	☒ a. 進んだ ☐ b. やや進んだ ☐ c. 現状維持 ☐ d. 全く進んでいない(後退した) <進んだ・進んでいない等の理由> 障がい福祉課内に障がい者虐待防止センターを設置し、虐待の通報、届出を受ける体制を整え、対応にあたった。 虐待の通報、届出受理後は、早期対応に努めた。随時障がい者を取り巻く関係機関と連携を図りながら、対応にあたる事が出来た。 障がい者を一時保護する居室を障害者支援施設に確保した。 虐待防止についての研修会の開催やパンフレットの配布等、周知、啓発を行った。								
現計画においての課題や反省点	虐待の通報、届出そのもの、虐待と認定された件数が少ない。それが本当に無いのか、訴える術を知らない又は出来ない為なのか測りかねる。また、周知、啓発がゆきわたっているとは言えない。								
次期計画への改善点	(上記「担当課評価」に基づき、具体的な改善方法などを記入) 習志野市障がい者自立支援協議会(平成26年度より習志野市障がい者地域共生協議会)を中心に障がい者虐待防止のための研修会の開催と障がい者を取り巻く関係機関との連携について検討していく。								
審議会意見	障がい者虐待防止センターの体制をHP等で公開して、障がい者からの相談・自立支援を推進していただきたい。 障がい者のDVは本人が訴えにくいこともあり、発見しにくいこともあるので各部署の連携が望まれる。								
					数値目標追加シート 無				

習志野市男女共同参画基本計画DV対策編(平成24年度～25年度)課別総括シート										
事業No.	2. 6. 7. 8. 16. 19. 21				担当課	子育て支援課				
					内線	468				
					連携課名	男女共同参画センター				
担当課評価	1. 事業の企画や実施にあたり配慮した項目(複数回答可)									
	☐ 1) 企画・立案段階で、男女双方が参画するまたは意見を聞くことに努めたか。 ☐ 2) 男女双方に利用しやすい環境とする配慮に努めたか。 (情報の提供方法、日時、託児設備など) ☒ 3) 事業対象者または参加者の現状把握(男女別、年齢別など)に努めたか。 ☒ 4) 男女共同参画の推進のため、他の部署や国・県、他市との連携に努めたか。 ☐ 5) その他 ()									
	2. 本計画における事業実施度									
	☒ A. 実施できた ☐ B. ある程度実施できた ☐ C. ほとんど実施できなかった ☐ D. 実施していない									
	◆指標 目標数値の達成度(100%とならなかった場合、理由を記載)									
	事業No	項目	目標数値	達成度	理由					
	6	相談員のDV研修等実施回数	年1回	100%						
現計画においての課題や反省点	3. 施策の方向に掲げた事項の進捗度									
	☒ a. 進んだ ☐ b. やや進んだ ☐ c. 現状維持 ☐ d. 全く進んでいない(後退した)									
	<進んだ・進んでいない等の理由> ・県で実施するDV相談業務支援のスーパービジョン研修に平成24年度から毎年参加し、相談技術の向上に努めました。(平成25年度 2名、計8回) ・相談員の研修については、家庭相談員、ひとり親家庭自立支援員、ケースワーカー業務を行う職員全員が受講できるように配慮し、県主催の研修等の参加により専門性を高めました。									
次期計画への改善点	(上記「担当課評価」に基づき、具体的な改善方法などを記入) ・家庭相談員、ひとり親家庭自立支援員及びケースワーカーは、DV研修等相談に関わる研修に参加し、多様化する相談内容に適切に対応できるようにします。 ・相談員、ケースワーカーのさらなる相談技術向上のため、県主催のDV相談支援スーパービジョン研修の参加機会を確保します。 ・男女共同参画センター、警察、女性サポートセンター等関係機関との連携を一層深め、適切な対応をしていきます。									
審議会意見	DVに関する関係機関との連携については、一層の取り組みの強化をお願いしたい。									
					数値目標追加シート					無

習志野市男女共同参画基本計画DV対策編(平成24年度～25年度)課別総括シート										
事業No.	25				担当課	住宅課				
					内線	272				
					連携課名					
担当課評価	1. 事業の企画や実施にあたり配慮した項目(複数回答可)									
	☐ 1) 企画・立案段階で、男女双方が参画するまたは意見を聞くことに努めたか。 ☐ 2) 男女双方に利用しやすい環境とする配慮に努めたか。 (情報の提供方法、日時、託児設備など) ☐ 3) 事業対象者または参加者の現状把握(男女別、年齢別など)に努めたか。 ☒ 4) 男女共同参画の推進のため、他の部署や国・県、他市との連携に努めたか。 ☐ 5) その他 ()									
	2. 本計画における事業実施度									
	☒ A. 実施できた ☐ B. ある程度実施できた ☐ C. ほとんど実施できなかった ☐ D. 実施していない									
	◆指標 目標数値の達成度(100%とならなかった場合、理由を記載)									
	事業No	項目	目標数値	達成度	理由					
現計画においての課題や反省点	3. 施策の方向に掲げた事項の進捗度									
	☐ a. 進んだ ☐ b. やや進んだ ☒ c. 現状維持 ☐ d. 全く進んでいない(後退した) <進んだ・進んでいない等の理由>									
次期計画への改善点	(上記「担当課評価」に基づき、具体的な改善方法などを記入) DV被害者に特化した窓口ではないこと、DV被害のみを事由にして優遇抽選を行うわけではないことにより、率先して情報提供することはできないが、被害者本人及び相談窓口担当課より依頼があれば情報提供をするといった現状のスタンスは改善の余地がない。 市営住宅の募集において、DV被害者に優遇抽選対象となる旨を周知することにより応募実績はあるものの、「空家募集」ではなく「空家登録募集」であるため、退去者がなければ入居できないこと、及び高齢者や障がい者などの他の優遇抽選対象者もあることから、現状では入居に至っていない。									
審議会意見	「DV被害者に特化した窓口ではないため、被害者本人及び相談担当部署より依頼があれば、情報提供する」とある。あまりに大きなPRは加害者への周知にもつながり、被害者保護の観点から難しい面もあると思うが、施策に対し消極的な印象を与えてしまうため、DV関係部署との情報共有を密に行なって連携強化に努めていただきたい。									
					数値目標追加シート					無

習志野市男女共同参画基本計画DV対策編(平成24年度～25年度)課別総括シート

事業NO.	5	担当課	指導課
		内線	432
		連携課名	

担当課評価	1. 事業の企画や実施にあたり配慮した項目(複数回答可)				
	☐ 1) 企画・立案段階で、男女双方が参画するまたは意見を聞くことに努めたか。 ☒ 2) 男女双方に利用しやすい環境とする配慮に努めたか。 (情報の提供方法、日時、託児設備など) ☒ 3) 事業対象者または参加者の現状把握(男女別、年齢別など)に努めたか。 ☐ 4) 男女共同参画の推進のため、他の部署や国・県、他市との連携に努めたか。 ☐ 5) その他 ()				
	2. 本計画における事業実施度				
	☐ A. 実施できた ☒ B. ある程度実施できた ☐ C. ほとんど実施できなかった ☐ D. 実施していない				
	◆指標 目標数値の達成度(100%とならなかった場合、理由を記載)				
	事業No	項目	目標数値	達成度	理由
現計画においての課題や反省点	3. 施策の方向に掲げた事項の進捗度				
	☐ a. 進んだ ☐ b. やや進んだ ☒ c. 現状維持 ☐ d. 全く進んでいない(後退した)				
次期計画への改善点	<進んだ・進んでいない等の理由> 小中学校の保健体育や学級活動の授業の中で身体の発達による性差の理解を促し、学校・学級集団の中でも、性的差別を受けないよう指導してきた。				
	(上記「担当課評価」に基づき、具体的な改善方法などを記入)				
審議会意見	授業中の指名、班編成などにおいて、男女の差別がないようにしていく。 小学校、中学校において発達段階に応じた性教育を施していく。				

数値目標追加シート	無
-----------	---

習志野市男女共同参画基本計画DV対策編(平成24年度～25年度)課別総括シート									
事業No.	6				担当課	総合教育センター			
					内線	476-1715			
					連携課名	子育て支援課			
担当課評価	1. 事業の企画や実施にあたり配慮した項目(複数回答可)								
	☒ 1) 企画・立案段階で、男女双方が参画するまたは意見を聞くことに努めたか。 ☒ 2) 男女双方に利用しやすい環境とする配慮に努めたか。 (情報の提供方法、日時、託児設備など) ☐ 3) 事業対象者または参加者の現状把握(男女別、年齢別など)に努めたか。 ☒ 4) 男女共同参画の推進のため、他の部署や国・県、他市との連携に努めたか。 ☐ 5) その他 ()								
	2. 本計画における事業実施度								
	☐ A. 実施できた ☒ B. ある程度実施できた ☐ C. ほとんど実施できなかった ☐ D. 実施していない								
	◆指標 目標数値の達成度(100%とならなかった場合、理由を記載)								
	事業No	項目	目標数値	達成度	理由				
	6	各種相談員に対するDV等についての研修の実施	年1回	100					
		3. 施策の方向に掲げた事項の進捗度							
☐ a. 進んだ ☒ b. やや進んだ ☐ c. 現状維持 ☐ d. 全く進んでいない(後退した)									
<進んだ・進んでいない等の理由> 相談員の研修意欲が高まり、部内でのDV等に関する研修に加えて、子育て支援課主催の「児童虐待・DV研修会」等にも参加し、伝達講習を実施した。									
現計画においての課題や反省点	○相談内容の多様化に適切に対応できるように、相談員の研修の充実に努めなければならない。 特に、DV被害者は大きな傷つきを抱えているため、「二次被害」を防止するために、日頃からDVの特性や被害者の心理状況などに関して理解を深めておく必要がある。 ○DVを目撃したことにより、子どもの心身にも様々な症状があらわれる可能性がある。 相談を通じて子どもの異変を察知し、子どもを守ると同時にDVの早期発見に努める。 また、子どもが感情表現や問題解決の手段として暴力を用いることを誤って学習しないように支援していく。								
次期計画への改善点	(上記「担当課評価」に基づき、具体的な改善方法などを記入) ○県や市から出される、DV被害者についての情報等を迅速に受け止め、相談活動に生かしていく。そのために、年に1回のDV等に関する研修を大切にするとともに、日頃の情報交換や月に1回のケース会議、年に3回の事例検討会も活用し、相談の技量を高めていく。 また、相談員のケアにも心を配るようにする。								
審議会意見	多様な相談内容に適切に対応できるように、相談員の研修内容を工夫されたい。								
					数値目標追加シート 無				

